



Bunkyo Brut

ブンキヨウ・ブリュット

2022-2024 記録集

Bunkyo Brut

ブンキョウ・ブルット

2022-2024 記録集

はじめに	02
事業の概要	03
・「Bチャレ」の概要 / 目標設定	
・団体の概要 / 企画の背景	
<u>つながりのはじまり展</u>	<u>05</u>
・準備・設営・広報	
・会場構成	
・模写とワークショップ	
・作品鑑賞	
・アンケート結果	
<u>つながりのまじわり展</u>	<u>17</u>
・広報・準備・設営	
・会場構成	
・模写とワークショップ	
・作品鑑賞	
・アート・コミュニケーションの振り返り	
・アンケート結果	
<u>つながりのまじわり展</u>	<u>29</u>
・広報・準備・会場構成	
・メイン会場 (Tweedie)	
・開催後の展開	
<u>つながりのひろがり展</u>	<u>37</u>
・広報・準備・設営	
・会場構成	
・体験コーナーと鑑賞	
・アンケート結果	
出展作家・協力団体一覧	50

はじめに

既存の美術潮流に影響されない表現を「アール・ブリュット」と呼びます。

私たちは、文京区内で創作された、まだ無名だけれど個性あふれる作品を集め、「Bunkyo Brut（ブンキョウ・ブリュット）」と名付けて鑑賞の機会を提供することを企画しました。

文京区の潜在的アート作品を展示することにより、区の魅力（文化的価値）向上に寄与とともに、コロナの流行などによりストレスの多い区民の日常に潤いを与えることを目指しました。

区内障害者施設で生まれた作品に特化した理由は、私たちのこれまでの活動の中から生まれたつながりによるところも大きいのですが、伝統文化が残り、有数の文化財を所有する文京区の環境に留まらず、地域で生まれた潜在的なアート作品に光をあてることで、街にエネルギーを吹き込むことができるのではないかとの思いからです。

区の文化事業としてそれらの作品の魅力を発信することにより、より多くの方が文化芸術に触れる機会を創出することを目指した本企画は、「街じゅうボーダーレスアートミュージアム構想」と題し、文京区社会福祉協議会の提案公募型協働事業（Bチャレ）の助成により実現しました。

2022年度から2024年度までの3年間に計4回の展覧会を開催しました。文京区と文京区社会福祉協議会、そして出展施設の方々をはじめとする地域のみなさまの多大なご協力のもと、信頼できる仲間と共に、作品の選定から広報、展示デザイン、設営、そして当日の運営と、展覧会に係るほぼすべてのことを担い、まさにオリジナルな展覧会を形成することができました。



展覧会当日は、アート・コミュニケータが来場者に寄り添い、対話やワークショップを通じて作品鑑賞をサポートし、初心者やアート作品に興味のなかった方々も呼び込むきっかけづくりに取り組みました。

※ アート・コミュニケータ ▶ [アートを介してコミュニケーションを促進し、人々の多様な価値観をつなぐ人々](#)

「Bunkyo Brut」を通じて、既成概念にとらわれない多様な表現の数々との出会いが、作品に触れる楽しみとともに、表現することの意味を考える機会となっていましたら幸いです。

その貴重な3年間の軌跡をここに記録いたします。

小松 一世（文京アートプロジェクト主宰）

事業の概要

■ 「Bチャレ」(提案公募型協働事業)の概要

文京区社会福祉協議会は、「地域連携ステーション フミコム」の目的である「新たなつながりを創出し、地域の活性化や地域課題の解決を図るための協働の拠点」の体現化を目指しています。「Bチャレ」は、ボランティア・NPO・企業・行政・学生（学校）・ソーシャルビジネス等による地域課題解決のための事業、解決に向けて協働をするためのチャレンジに対する活動に助成します。

※事業愛称として、文京（Bunkyo）の「B」、チャレンジの「チャレ」から「Bチャレ」としました。

文京アートプロジェクトでは、同助成事業の「新たなつながり部門」に掲げられた課題解決として、令和4（2022）年度と令和5（2023）年度は「文化芸術に誰もが参加でき、触れられる機会を増やす活動」、令和6（2024）年度は「障害の有無に関わらず文化芸術活動に参加・鑑賞することを容易にする取り組み」としてエントリーし、採択いただきました。

■ 目標設定

「Bチャレ」は単年度ごとにエントリーして採否が決まりますが、継続限度となる3年間の活動を見据えて目標を設定しました。展覧会を通して作品や人、地域との「つながり」が少しづつ増えたければ…という想いを込めて、「つながり」展のサブタイトルを付けました。

令和4（2022）年度：Bunkyo Brut～つながりのはじまり展

- ・ギャラリーシビックで展覧会を開催し、アート・コミュニケータによる対話型鑑賞やワークショップを取り入れることで、様々な年齢の参加者の来場を促し、作品の感想などを共有する。
- ・SNSなども通じて文京区の新たな文化資産を周知し、地域への愛着を深める機会とする。
- ・「誰もが」芸術作品に触れられる機会を創出するため、30点以上の作品展示と、ポスターによる100箇所以上の掲出を目指す。

令和5（2023）年度：Bunkyo Brut～つながりのまじわり展

Bunkyo Brut～つながりのまじわり展 part2

- ・初年度同様の目標に加えて、「街なか」での展示とワークショップを展開する。

令和6（2024）年度：Bunkyo Brut～つながりのひろがり展

- ・初年度同様の目標に加えて、授産品販売会「ハートフル工房販売会」との連動に取り組む。
- ・見えない人でも触覚で作品鑑賞を楽しめるツールを作成し、展覧会で活用する。



■ 団体の概要

文京アートプロジェクトについて <https://www.facebook.com/bunkyo.art>

アートを介して人と人や人と地域をつなげること、住み慣れた文京区の新旧の魅力ある文化を対話を通じて楽しむことを目的として、2015（平成27）年10月に団体を設立しました。

主な活動実績

- ・2016年～2018年：谷中芸工展で缶バッジワークショップ
- ・2016年～2019年：神田川アートプロッサムで缶バッジワークショップ＆アートさんぽ
- ・2017年～2018年：区民向けアートダイアログ（地域活動センター、カフェU_U他）
- ・2018年：高齢者向けアートダイアログ（白山みやびの郷）
- ・2018年～2019年：デジタル絵本づくりワークショップ（区内図書館3館）
- ・2019年：アールブリュット作品のアートダイアログ

（トット ART フェス、板橋えんじゅくギャラリー、カフェU_U他）



■ 企画の背景

障害者施設とのつながり

文京アートプロジェクト主宰の小松が、区内有志で取り組む「文京まちたいわフェス」のアートワークを担当したことをきっかけに、2019年度からリアン文京のアート活動のディレクションを担い、アートウォールシビックでの展示や商品開発等に取り組むようになりました。並行して2020年度からは障害者就労支援センターによる「ハートフル工房販売会」の連絡会講師を担い、区内障害者施設への訪問等を通じて、さまざまなアートへの取り組みの一環を知りました。

その頃から、施設の活動から生まれた作品未満の『宝の山』をいつかたくさんの人を見て欲しいという気持ちをずっと温めてきました。

*文京まちたいわフェス ▶「文京区社会起業フェスタ」から続く自主イベント <https://www.facebook.com/bunkyomachitaiwa/>

*ハートフル工房販売会 ▶文京区内の障害者施設商品の販売会 <https://www.city.bunkyo.lg.jp/b018/p003436.html>

アート・コミュニケータの起用

同小松が理事を務める、「とびらプロジェクト」の修了生有志により設立したNPOアート・コミュニケーション推進機構（PARC）の協力で、

展覧会当日のアート・コミュニケータによる鑑賞サポートを企画しました。

*とびらプロジェクト ▶ 東京都美術館と東京藝術大学による美術館を拠点にアートを介してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクト <https://tobira-project.info>

*PARC ▶ とびらプロジェクトの修了生同窓会の任意団体「アート・コミュニケータ東京」の事務局を担う

<https://art-c-tokyo.net/>



Bunkyo Brut

ブンキョウ・ブルット

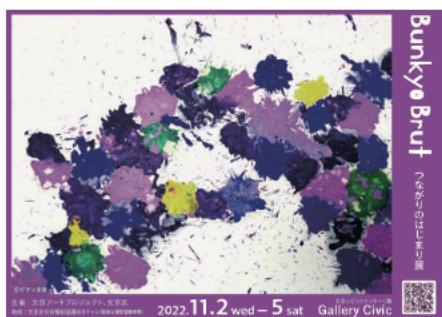
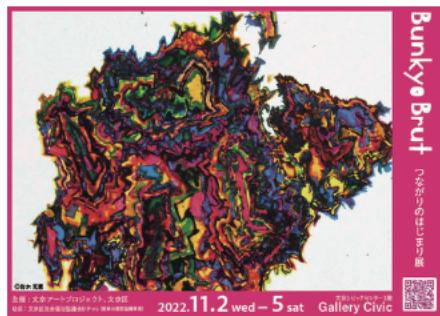
つながりのはじまり展

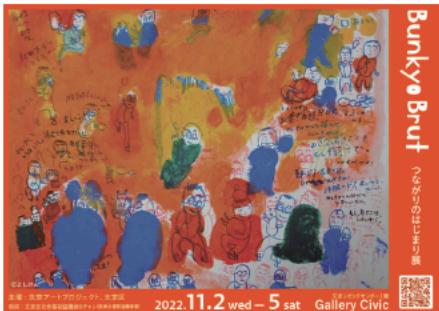
- ・開催日程：2022年11月2日（水）～5日（土）
- ・開催時間：10時～17時（2日=11時～、5日=～15時）
- ・会場：ギャラリー・シビック（文京区春日1-16-21）
- ・展示作品数：210点
- ・出展作家数：25人+5グループ
- ・来場者数：462人

■ 広報

「街じゅうボーダレスアートミュージアム構想」の一環として、区設掲示板を展示会場に見立て、作品を大きくレイアウトした開催告知ポスターを掲示しました。

全12種類のB3版ポスターを、区内190か所の掲示板と11台のコミュニティバス「B-ぐる」車内に展開しました。



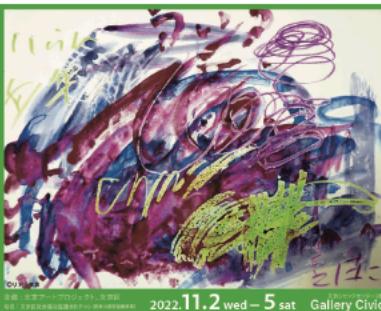


Bunkyo Brut

つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic



Bunkyo Brut

つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic

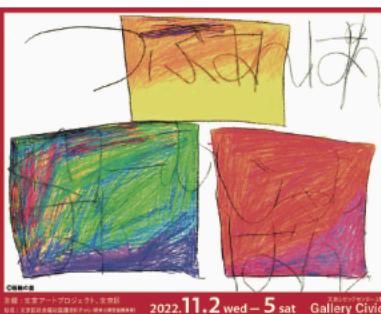


Bunkyo Brut

つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic

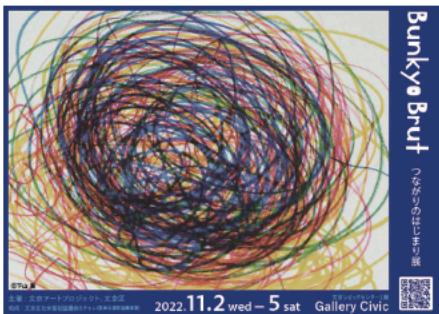


Bunkyo Brut

つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic

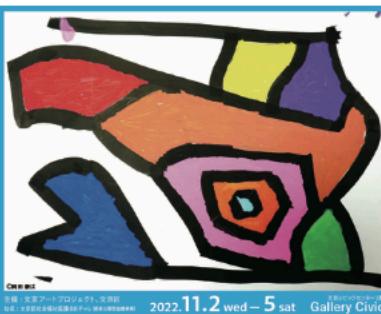


Bunkyo Brut

つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic



Bunkyo Brut

つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic



Bunkyo Brut

つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic



Bunkyo Brut

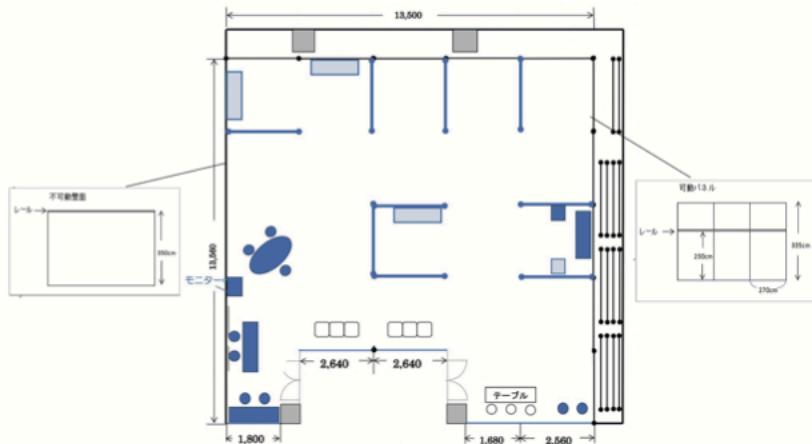
つるがりのはじまり展

2022.11.2 wed – 5 sat

Gallery Civic

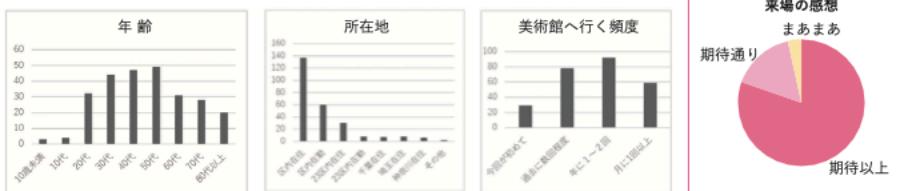


■ 会場構成



■ アンケート結果

会場では、来場いただいた方々にアンケートにご協力いただきました。開催後には、コミュニケーターと、作品を提供いただいた施設の職員の方々の声も集めました。



来場者の主な感想

- ・すごく楽しめた。作品鑑賞の楽しみ方を教わった。再開催を強く願う。(複数回答)
- ・他の方と一緒に作品を見ることが楽しさが倍増した。(複数回答)
- ・溢れる才能、無限に思える集中力。
- ・単なる展示ではなく愛とセンスのある展示だった。区内の他の所でも開催してほしい。(複数回答)
- ・パワーあふれる作品に感動した。毎月でも毎日でも開催してほしい。(複数回答)
- ・美術館にはよく行くが、今年で一番面白い作品展だった。
- ・自由に思うまま表現していいのだと教えられ、創作意欲が湧いた。(複数回答)
- ・初めて自分で絵を描いてみたいと思った。そのタイミングでWSコーナーがあるのは有り難かった。
- ・カラフルで、表現のバリエーションも豊富で、楽しい作品展示だった。(複数回答)
- ・きちんと芸術作品として評価していることが伝わる良い展示だった。マーケッターがつくといい。
- ・お気に入りの作品のグッズを作ってほしい。(複数回答)

施設の方の主な感想

- ・実際に他の事業所の作品を見る良い機会になった。
- ・利用者本人や保護者の喜びの声を直接聞くことが出来た。
- ・展示方法・構成・キャブションなど、いわゆる障害者の方の作品展的なものでなく、一般的な美術展示のようにとても丁寧で質の高い展示をしていただいたこと。
- ・主催された文京アートプロジェクトの方ひとりひとりが、アート自体またアールブリュットを好きな事がことが伝わってきた。
- ・利用者、保護者の喜ぶ姿を見る事ができ、職員の作品作りのモチベーションにつながった。
- ・展示だけではなく作品の鑑賞のしかたを教えていただける企画がいろいろあったことが良かった。
- ・多くの人の目にふれる区役所に展示され、利用者の作品が世の中で表現出来ている実感がもてた。

アート・コミュニケーターの主な感想

- ・会場に障害のある方や子どもがいたり、ワークショップが行われていることもあってか、気負わず思い思いに過ごせる場所になっていたと思う。
- ・ちょっとしたきっかけや言葉掛けで、これまで見ていた作品が違ったものに見える瞬間とか、作品のほんの一部分しか見えていなかったと気づいた瞬間とか。来場者の方のそういう「瞬間」に立ち会うことができた。
- ・作品の自由な力に助けられた。作品をどんな風に見ても良いし、それぞれ観者の視点から物語が展開されていた。
- ・文京区の施設の皆さん的作品を地域のみなさんに知ってもらう繋ぎ役としてアート・コミュニケーターがそこにいる意味があったと思う。作家さんや施設に関係なく障害があるご家族をお持ちの方も多く来場された。お話を伺いながら、様々な思いへと考えを巡らせる機会になった。
- ・ワークショップを体験した皆さんが総じてとても満足そうな笑顔だったのが印象的だった。
- ・年配の何人もの方が近所に住んでいる（いた）作者（当事者）を小さい頃から見守っていて、散歩がてら展覧会を見にきたというご近所コミュニティーの存在を目の当たりにした。シビックセンター付近を日々散策されているという方も多いらした。展覧会は無いの場（ご高齢者の話の場）でもあると感じた。
- ・アート・ブリュットに関心があったり、障害のある方に関わっている方は熱心に見る。全く知らずに来た人でもアートに関心が高い人や自分で絵を描いたりする人が多い。総じてコミュニケーターと話すことで満足度が上がっていたのではないかと思った。

ブンキョウ・ブリュット

Bunkyo Brut

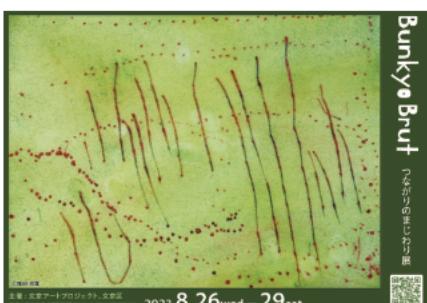
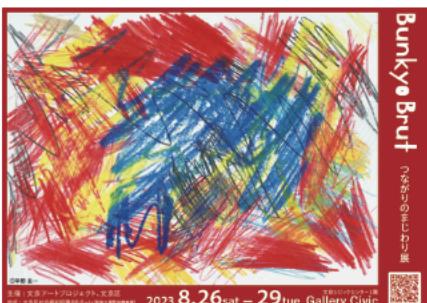
つながりのまじわり展

- ・開催日程：2023年8月26日（土）～29日（火）
- ・開催時間：10時～18時（2日=11時～、5日=～15時）
- ・会場：ギャラリー・シビック（文京区春日1-16-21）
- ・展示作品数：430点
- ・出展作家数：33人+4グループ
- ・来場者数：959人

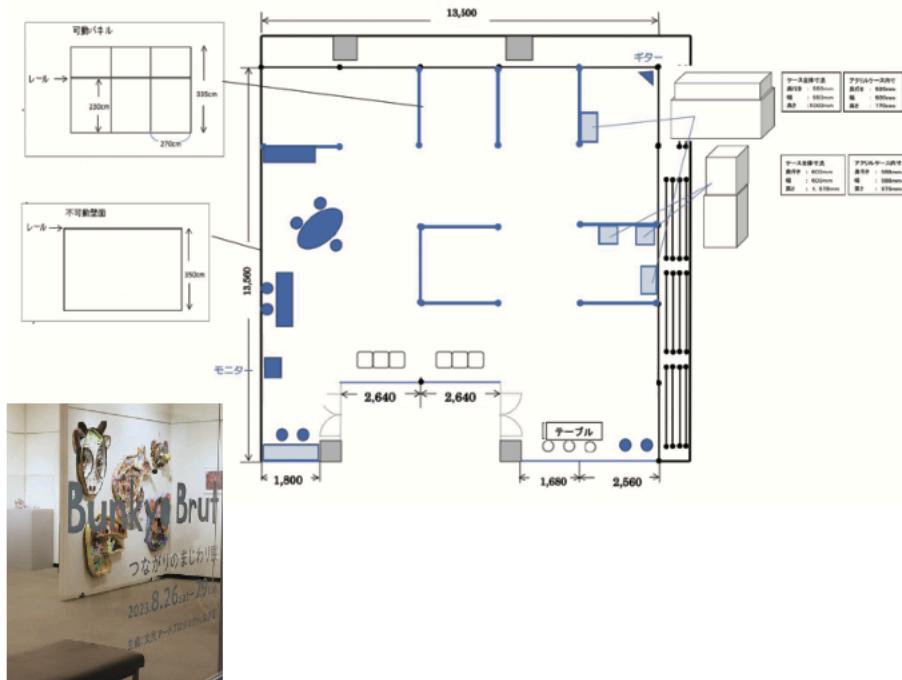
■ 広報

夏開催用のポスターは、B3版・全8種類。

区内190か所の掲示板と11台のコミュニティバス「B-ぐる」車内に展開しました。



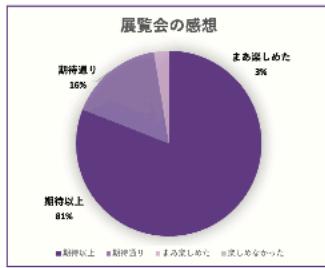
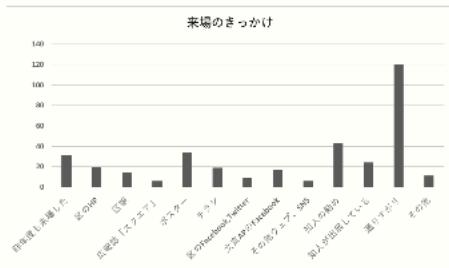
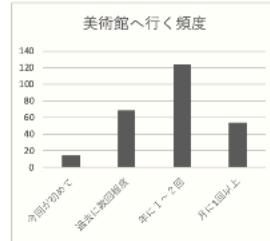
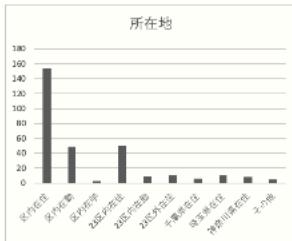
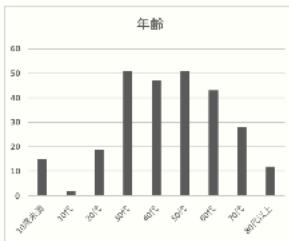
■ 会場構成



■ アンケート結果

会場では、来場いただいた方々にアンケートにご協力いただきました。

来場のきっかけは、区役所という立地らしく「通りすがり」が圧倒的に多いのですが、リピーターの方の来場も多かったことは嬉しい結果でした。



来場者の主な感想

- ・素晴らしい活動、ぜひ継続して開催してほしい（複数回答）
 - ・近所の掲示板でポスターを見てとても気になっていた。実物が見られて嬉しい（複数回答）
 - ・昨年度も来場しても楽しかったが、今年の作品も面白い
 - ・昨年度作品が展示されてから、すごく積極的に創作に取り組むようになった（作者の家族）
 - ・作品を購入したい
 - ・作品のグッズが欲しい（複数回答）
 - ・区役所で開催してくださるのがとても嬉しい
 - ・コミュニケーションの方が対応してくれたので、子どもも飽きずに楽しめていた
 - ・一緒に観て感じたことを伝え合うことがとても楽しかった

アート・コミュニケータの主な感想

- ・今回も偶然足を留めて下さった方多かったです。入場のしやすさについても考えてみたいですね。
 - ・作業所の説明パネルをしっかり読んでいる方多かったです。
 - ・単に、だれかと話をしたい方も多いのだなと感じた。
 - ・アート・コミュニケーターの仕事はアートを介した場作りなので、まさに体現できて大成功だと思う。
 - ・私の場合は、作品を見ながら鑑賞者の日々の生活などをお話しいただくことが多いが、全くの他人だからこそ話せること、事実ではないかもしれないが話したいことを話すことで柔らかい表情になって帰る人たちを見ると、コミュニケーターとしての役割を少し果たせたかなと思った。

Bunkyo Brut

ブンキョウ・ブルット

つながりのまじわり展 part 2

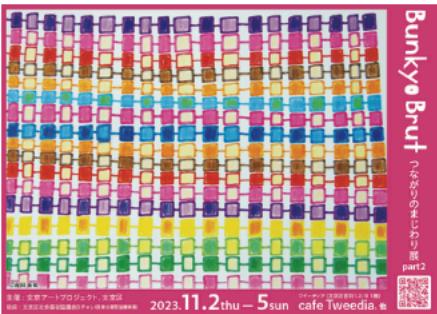
- ・開催日程：2023年11月2日（木）～5日（日）
- ・開催時間：10時～17時
- ・会場：Tweedia（文京区音羽1-2-18）、他
- ・展示作品数：253点
- ・出展作家数：17人 + 3グループ

■ 広報

「つながりのまじわり展」は夏のシビックギャラリーの後、秋には街に展開しました。告知ポスターは4種類(夏の8種類と合わせて12種類となります)。区設掲示板(190か所)の他、会場となる江戸川橋エリアの町会にご協力いただき、町会掲示板にも掲示していただきました。



Bunkyo Brut つながりのまじわり展 part2



Bunkyo Brut つながりのまじわり展 part2

2023.11.2 thu - 5 sun cafe Tweedia.e



Bunkyo Brut つながりのまじわり展 part2



Bunkyo Brut つながりのまじわり展 part2

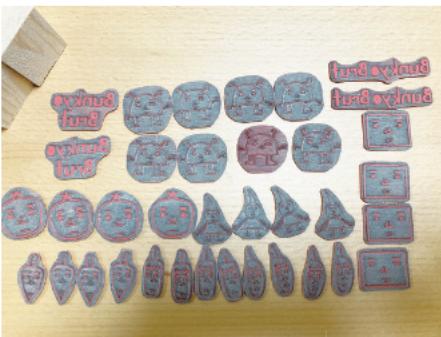
2023.11.2 thu - 5 sun cafe Tweedia.e

■ 準備

秋の「つながりのまじわり展」では、作品の展示だけでなく、オリジナル・ワークショップの開催や、グッズの販売、Bunkyo Brut 出展作品の缶バッジが当たる「ガチャ」なども用意しました。

イラストのハンコを押して「パラパラマンガ」が作れるワークショップのために、オリジナルのハンコを作成。缶バッジの制作や、「ガチャ」のカプセル投入などの作業も、アート・コミュニケーションが尽力しました。

ギャラリーではないスペースに作品を展示するため、設営にも四苦八苦しましたが、地域の方々のご協力もあり、無事開催へと漕ぎ着けました。



■ 会場構成





Bunkyo Brut

ブンキョウ・ブルット

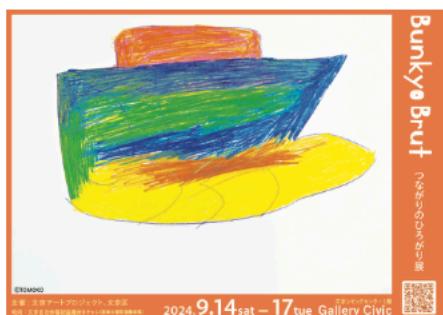
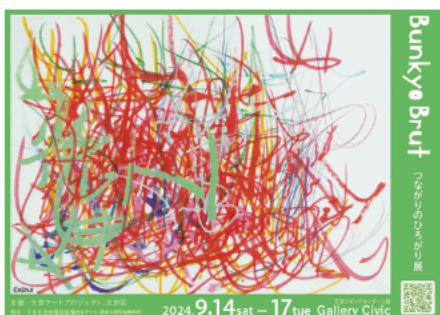
つながりのひろがり展

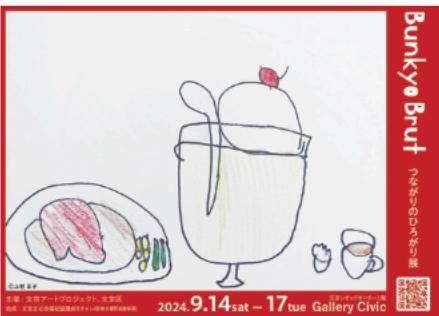
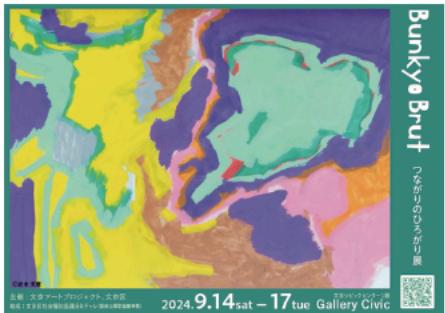
- ・開催日程：2024年9月14日（土）～17日（火）
- ・開催時間：10時～18時（14日=11時～、17日=～16時）
- ・会場：ギャラリー・シビック（文京区春日1-16-21）
- ・展示作品数：233点
- ・出展作家数：45人+2グループ
- ・来場者数：982人

■ 広報

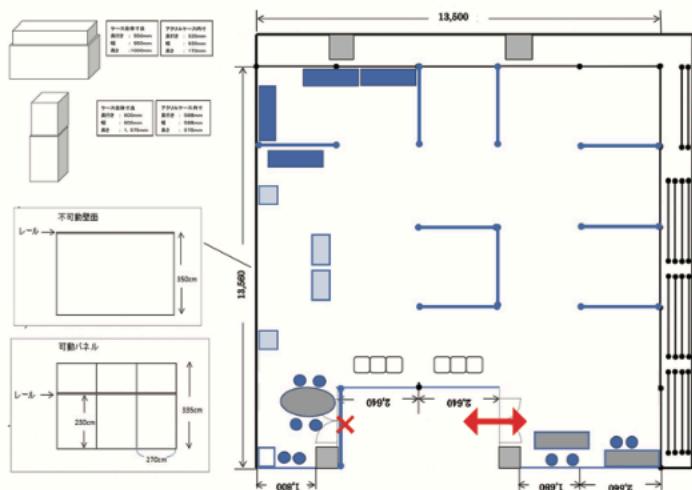
3年目の開催となる「Bunkyo Brut～つながりのひろがり」展は、これまで最大の6施設の参加に加えて、東京都立文京盲学校と筑波大附属視覚特別支援校からも出展いただき、まさにタイトルの通り「ひろがり」の感じられる展覧会となりました。

告知ポスターはこれまで同様に全12種類のB3版ポスターを、区内190か所の掲示板と11台のコミュニティバス「B-ぐる」車内に展開しました。





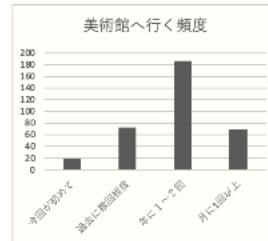
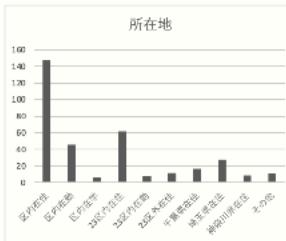
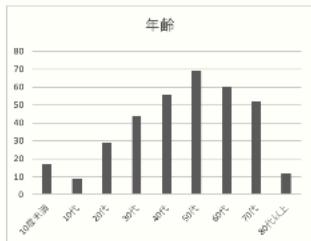
■ 会場構成



■ アンケート結果

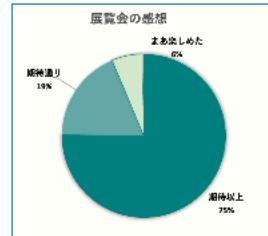
会場では、来場いただいた方々にアンケートにご協力いただきました。

自由記入欄には継続を願うご意見が多数書かれていました。



来場者の主な感想

- ・また開催してほしい（複数回答）
- ・もっと頻繁に開催してほしい（複数回答）
- ・心が癒された（複数回答）
- ・キュレーションに温かさを感じる素晴らしい展示だった（複数回答）
- ・手の感触だけで鑑賞を楽しむことができた（複数回答）
- ・障害の有無に関係なく、表現の方法は様々だと感じた
- ・作品を観て、自分でも何か作ってみたい気持ちになった（複数回答）
- ・一人で鑑賞していて、「あ～これいいな」と声に出して言いたくなつたタイミングでコミュニケーションの方が近くにきてくれた嬉しかった
- ・昨年も一昨年もきて楽しんだが、今年は支援学校の生徒さんの作品も加わり、さらに充実していた



施設の方の主な感想

- ・家族は非常に喜んでいる方が多く、実際に見に行ったとの報告を受けている
- ・自分の作品が飾ってあったと、ご家族と一緒に喜ばれていらっしゃった
- ・利用者の作品をみたよ！と声を掛けられ、施設内の活気が良くなつたように感じる
- ・利用者の作品の見せ方で、作品のイメージが大きく変わることなどを知った
- ・利用者さんの作品や展示されている様子を見て感銘を受け、自分自身の施設のみではなく他施設の作品を見ることで新たな気づきを得ることが出来て有意義だった
- ・3年間で利用者の作風も変わり、職員も変わり時代の流れを感じた
- ・文京区内でこのような展示がなかなかなかった中、文京ブリュットは3度開催し、毎年の作品のクオリティも高くなつてきているように感じた
- ・障害者アートの展示に関して色々な考えで皆さんが出でし展示しているので勉強になった
- ・ある意味、問題行動と思っていたことの副産物が「アート」としてみていただけたことで、利用者に対する職員の気持ちが少し寛容になったようにも感じる

支援校の先生方の主な感想

- ・学校以外で外の方に向けて作品を発表する機会はほとんどないので、ありがとうございました
- ・障害者が作ったものだからという理由で一律に並べるのではなく、美術作品として丁寧に展示していただけでとても嬉しかった
- ・地域の方にみていただいて、学校の存在を知っていただく機会にもなれた

所在	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
区内在住	148	26	36	47	39
区内在勤	46	6	5	10	25
区内在学	7	1	3	2	1
23区内在住	62	18	16	21	7
23区内在勤	8	3	3	2	0
23区外在住	12	1	8	1	2
千葉県在住	17	5	7	1	4
埼玉県在住	28	11	7	5	5
神奈川県在住	9	5	2	1	1
その他	11	0	8	3	0
計	348	76	95	93	84

世代	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
10歳未満	17	2	10	5	0
10代	9	2	5	2	0
20代	29	12	3	5	9
30代	44	8	13	11	12
40代	56	9	17	18	12
50代	69	17	19	18	15
60代	60	17	17	15	11
70代	52	7	11	15	19
80代以上	12	2	0	4	6
計	348	76	95	93	84

性別	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
男	123	29	43	30	21
女	223	46	52	62	63
その他	2	1	0	1	0
計	348	76	95	93	84

所属	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
学生	29	7	10	7	5
福祉関係	38	11	13	4	10
博物館・美術館	6	0	1	1	4
教育機関	23	6	4	8	5
生涯学習関係	1	0	0	0	1
会社員	87	17	28	28	14
公務員	21	1	5	5	10
アーティスト	5	4	1	0	0
アート関連	6	1	1	2	2
地域活動	13	4	1	1	7
ボランティア	11	3	2	2	4
他	108	22	29	35	22
計	348	76	95	93	84

福祉系 2、美術 1

休日に好んですること	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
スポーツ	58	9	18	16	15
スポーツ観戦	38	7	14	7	10
映画・演劇鑑賞	86	20	24	19	23
ミュージアム巡り	85	22	18	21	24
ライブ・コンサート	44	11	13	12	8
旅行・食べ歩き	134	26	32	41	35
創作活動	38	9	10	9	10
ショッピング	68	15	16	24	13
読書	60	11	11	21	17
ボランティア	25	4	5	8	8
その他	41	13	11	11	6
計	677	147	172	189	169

来場のきっかけ	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
昨年度も来場した	33	5	11	9	8
区のHP	16	1	7	3	5
区報	26	3	4	10	9
広報誌「スクエア」	5	0	2	1	2
ボスター	30	4	6	8	12
チラシ	22	10	3	4	5
区のFacebook,Twitter	5	1	1	0	3
文京APのFacebook	18	2	5	5	6
その他ウェブ、SNS	6	1	2	1	2
知人の勧め	42	9	7	10	16
知人が出展している	25	6	6	7	6
通りすがり	176	30	57	55	34
その他	12	8	2	1	1
計	416	80	113	114	109

来場した印象	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
期待以上	262	59	71	68	64
期待通り	64	16	15	19	14
まあ楽しかった	21	0	9	6	6
楽しめなかつた	1	1	0	0	0
計	348	76	95	93	84

来場数	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
来場数	982	242	234	255	251
アンケート回収率	35%	31%	41%	36%	33%

頻度	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
今回が初めて	19	4	7	6	2
過去に数回程度	72	12	24	20	16
年に1~2回	187	46	47	50	44
月に1回以上	70	14	17	17	22
計	348	76	95	93	84

所在	R6	R5	R4
区内在住	148	154	137
区内勤	46	49	60
区内在学	7	3	
23区内在住	62	50	30
23区内勤	8	9	8
23区外在住	12	10	
千葉県在住	17	6	7
埼玉県在住	28	10	8
神奈川県在住	9	8	6
その他	11	5	2
計	348	304	258

性別	R6	R5	R4
男	123	89	89
女	223	178	168
その他	2	1	1
計	348	268	258

美術館への頻度	R6	R5	R4
今回が初めて	19	14	29
過去に数回程度	72	69	78
年に1~2回	187	124	92
月に1回以上	70	54	59
計	348	261	258

所属	R6	R5
学生	29	13
福祉関係	38	23
博物館・美術館	6	3
教育機関	23	13
生涯学習関係	1	2
会社員	87	75
公務員	21	37
アーティスト	5	5
アート関連	6	7
地域活動	13	11
ボランティア	11	15
他	108	88
計	348	292

休日に好んですること	R6	R5	R4
スポーツ	58	43	47
スポーツ観戦	38	31	32
映画・演劇鑑賞	86	86	64
ミュージアム巡り	85	68	54
ライブ・コンサート	44	22	30
旅行・食べ歩き	134	97	101
創作活動	38	24	29
ショッピング	68	52	59
読書	60	59	60
ボランティア	25	27	
その他	41	31	49
計	677	540	528

来場のきっかけ	R6	R5	R4
昨年度も来場した	33	31	
区のHP	16	20	23
区報	26	14	
広報誌「スクエア」	5	6	
ボスター	30	34	35
チラシ	22	19	23
区のFacebook,Twitter	5	9	
文京APのFacebook	18	17	14
その他ウェブ、SNS	6	6	
知人の勧め	42	43	39
知人が出展している	25	24	21
通りすがり	176	120	
その他	12	11	103
計	416	354	258

来場した印象	R6	R5	R4
期待以上	262	217	208
期待通り	64	44	41
まあ楽しかった	21	7	9
楽しめなかった	1	0	0
計	348	268	258

R6来場数	計	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日
来場数	982	242	234	255	251
アンケート回収率	35%	31%	41%	36%	33%

R5来場数	計	8月26日	8月27日	8月28日	8月29日
来場総数	959	331	356	166	106
子供	310	178	105	21	6
成人	649	153	251	145	100
アンケート回収率	28%	21%	19%	51%	46%
(成人数/回収率)	41%	44%	26%	59%	49%

R4来場数	計	11月2日	11月3日	11月4日	11月5日
受付数	462	115	118	124	105
アンケート回収率	56%	48%	45%	72%	58%



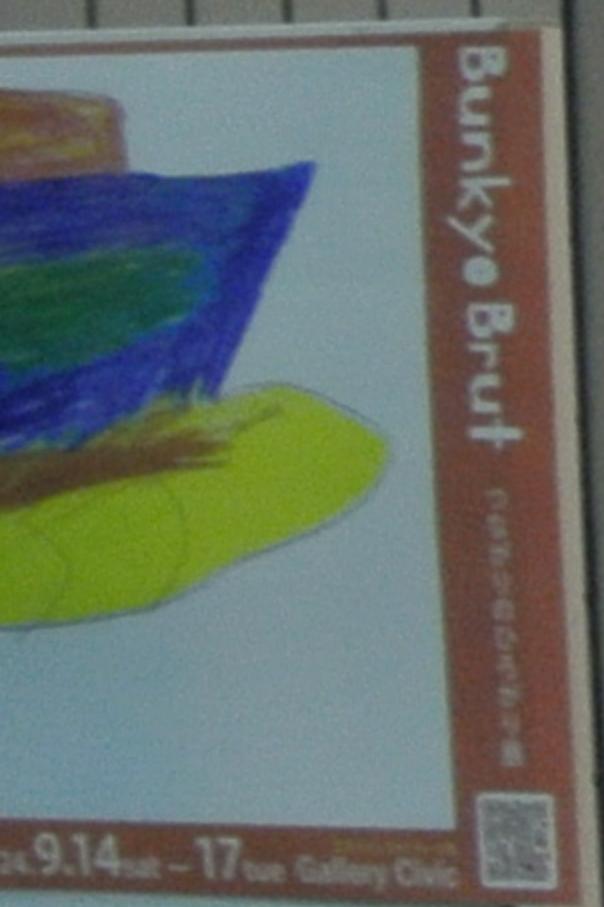
Bunkyo Brut

つながりのひろがり展

2024.9.14^{sat}–17^{ture}

主催:文京アートプロジェクト、文京区

展示室1) B
(Room 1)

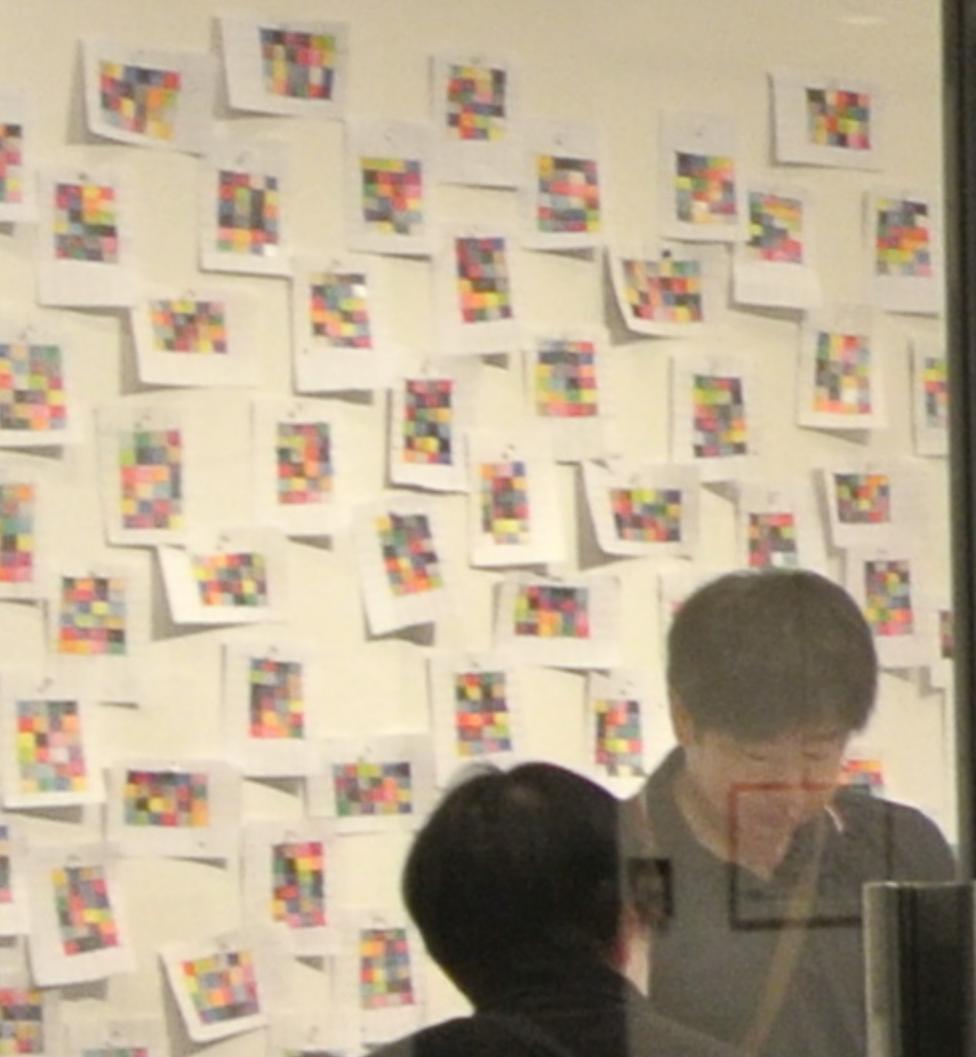


展示中

OPEN

ご自由にお入りください

右側からお入りください



Bunkyo B

つなかりの

2024.9.14

主催:文京アートプロ



Bunkyo Brut

つながりのひろがり展

2024.9.14 sat - 17 tue

主催: 文京アートプロジェクト、文京区

Bunkyo Brut

つながりのひろがり展

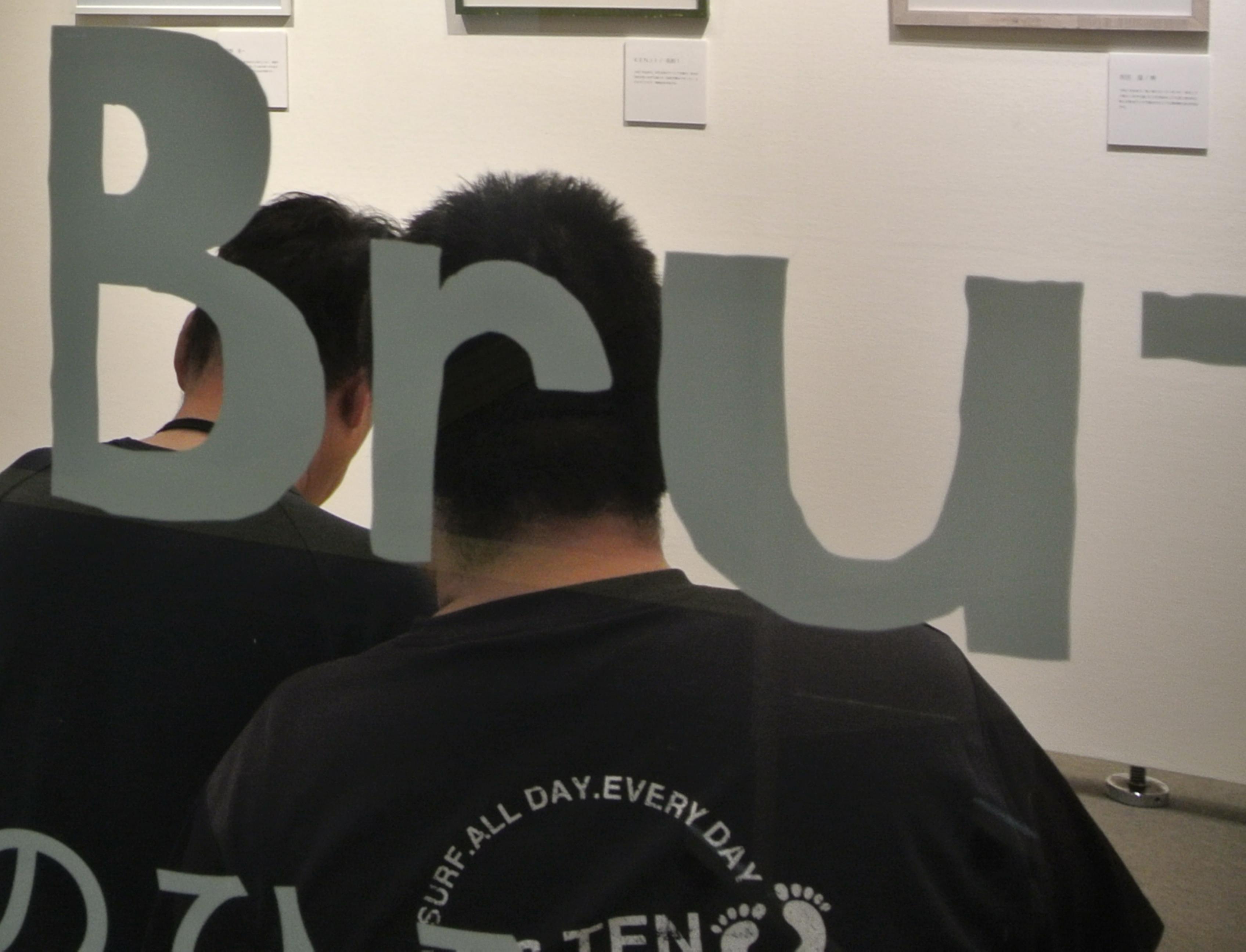
2024.9.14sat-17tue

主催:文京アートプロジェクト、文京区



Bunkkyo
Bau

つながりの

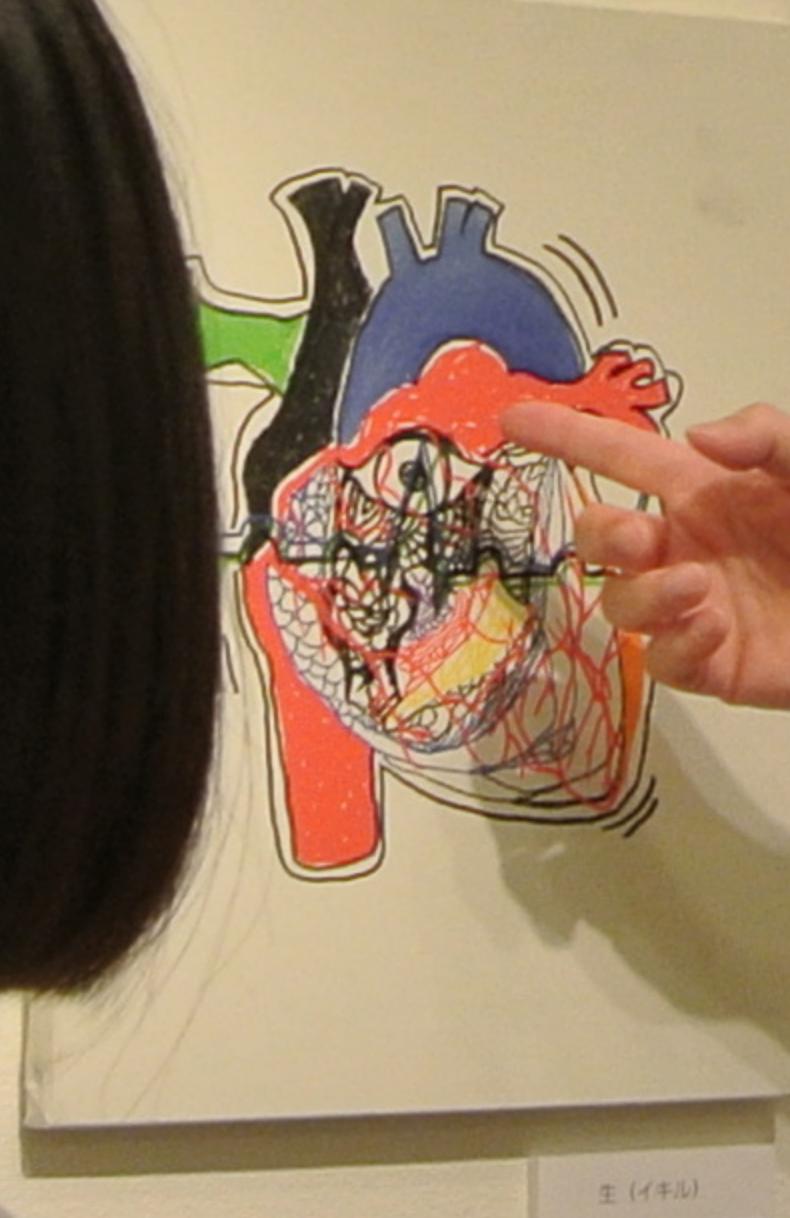








ぱわふる



生(イキ)



死(マミ)

死(マミ)

